

# 民生委員の職務全般について

## 一般質問



黒田 秀一 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 丁寧な説明がないまま、冊子等を参照して調査・活動をしてくれというのでは、まるで行政の仕事を丸投げしているように思えるがどうか。

**答** 就任に際して、健康福祉部等の各部署及び社会福祉協議会から、職務や福祉制度等について研修会を実施しています。また、限られた時間で多くの事項を一度にご理解いただくことは困難であるため、その後も地区や県の研修会にご参加いただいております。

**問** こんにちは赤ちゃん事業について、本来保健師が対応しているところへ、多忙な民生委員が訪問する

意味はあるのか。

**答** 保健師、助産師による新生児訪問(生後2ヵ月及び4ヵ月)のない時期(生後3ヵ月)に、民生児童委員が訪問することは、少子化・核家族化によりコミュニティーが希薄となっているなか、乳児家庭と地域社会をつなぐ、意義深いものと考えています。

子育ての不安やストレスを地域の身近な方に相談していただくという、行政では扱えない大切な役割を児童委員が担っているものと考えています。

**問** 民生児童委員と福祉委員の活動の違いについて。

**答** 民生委員は、住民に寄り添った相談援助を通じて、安心な暮らしの支援を行うものであり、知事の推薦を経て厚生労働大臣が委嘱し、児童福祉法により児童委員も兼ねています。一方、福祉委員は、福祉のまちづくりに

関する身近な福祉活動を推進するものであり、社会福祉協議会の理事長が委嘱しています。

両委員とも地域福祉という共通の目的があるため、加西市では、民生委員の方に福祉委員を委嘱しています。

**問** 災害時の要援護者登録申請書の取り扱いについて。

**答** 災害時において、支援を希望する方については、その情報を民生委員さん、区長さん、自治会、自主防災組織のほうへ提供しており、地元で把握をされています。また、希望されない方については、個人情報法の観点から提供はしておらず、危機管理課や福祉部局で台帳管理をしております。

### ■その他の質問項目

- ・北条市街地住環境整備について
- ・防災訓練について

# 加西市の石仏遺産について

## 一般質問



長田 謙一 議員  
(21政会)

**問** 加西市石仏遺産についての質問です。

日本には、最も古い石仏は白鳳時代の石仏であり3体が確認されています。そのうち、加西市には古法華三尊石仏、繁昌の五尊石仏の2体が現存しています。この貴重な石仏遺産の位置付けをどのように考えているか。

**答** 加西市は自他ともに認める石仏の町であり、古法華の石仏については、国指定の重要文化財であり、そのほかにも県指定の文化財である山伏峠の石棺仏、加西市指定

の文化財第1号である五百羅漢、また、異形石仏である野上町の大日寺石仏群があり、この異形石仏群については、平成25年度に学術調査、研究もされています。

平成26年度についても、研究グループの方々を中心に研究、調査をしていただいております。教育委員会としても、この件については、支援協力をしておるところです。このように、加西市は多種多様な石仏の宝庫であり、文化財的に重要であることは言うまでもございません。加西市の重要な歴史的特色であり、特徴であるとともに、加西市民の宝であると認識をしております。

**問** 石仏群を最大の観光資源として、全国各地への発信手段とアピール方法をお尋ねしたい。

**答** 観光資源の情報発信手段は地域でも取り組んでおり、五百

羅漢については、保存委員会の方々に千灯会等の事業をし、資源活用を図られています。

古法華の石仏については、春祭り、秋祭り等で一般開放もされているところであります。観光行政としては、この資源を活用した取り組みとして、市内各地にある石仏、石棺を巡るハイキング等も実施しています。放送番組等への対策としては、ホームページやSNSなどを利用し発信しております。今後も石仏群については、貴重な観光資源であるため、積極的に発信をし、また、各種メディアや旅行会社等への営業を積極的に働きかけたいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・加西市における自主防災組織について
- ・人口減少対策について